



れんごう ふくおか

No. 314

RENGO FUKUOKA

2016年10月12日発行
発行：日本労働組合総連合会福岡県連合会
発行人：西村芳樹 編集人：上野茂伸
〒812-0025 福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル
TEL.092-283-5529 FAX.092-283-5611
連合福岡のホームページ
<http://www.rengo-fukuoka.jp/>
連合福岡のメールアドレス
info@fukuoka.jtuc-rengo.jp

連合福岡第19回定期中間大会に向けて



昨年大会 閉会あいさつ

連合福岡は、来る10月27日（木）に第19回定期中間大会を、都久志会館にて開催します。昨年の第18回定期大会において規約改正を行い、大会と地方委員会のあり方を整理した初めての大会となります。「中間大会」である為、昨年確認した運動方針について前半年度（今年度1年間）の経過と振り返りを行い、方針達成に向け後半年度の取り組みについて確認する大会となります。

今年度は第24回参議院議員選挙に向けて、昨年末のから「クラシノソコアゲ応援団！2016RENGOキャンペーン」を県内各地で展開し大きく世論喚起を行

い、春季生活闘争では「底上げ春闘」を訴え、中小未組織の労働者の労働条件の向上を目指してきました。更には、私たち働く者の政策実現に向けて、構成組織と地域協議会が一丸となって参議院議員選挙に取り組み、成果を上げてきた一年となりました。

連合福岡はこの1年、様々な場面で力強く運動を展開してきましたが、私たち働く者を取り巻く環境は改善されず、将来的な不安が増すばかりとなっています。この「中間大会」において私たちが目指す『働くことを軸とする安心社会』の実現に向けて、後半年度の取り組みを全員で確認していきましょう。



昨年大会 代議員のみなさん

ついでと 告意～問

衆議院補欠選挙で全国的に注目されている福岡6区。選挙情勢ばかりに目がいきますが、この

地域はいままさに実りの秋！

有名どころは巨峰や梨、柿といったところでしょうが、最近ではパッションフルーツやドラゴンフルーツなど、日本で栽培しているイメージのない果物を作る若手果樹農家も出てきて、様々な秋の味覚を味わえます。

また、福岡県の「ブランド化を通じた県産農産物の競争力を高める取り組み」により、いちごの「あまおう」に続くブランド品種として、いちじくの「とよみつひめ」や、柿の「秋王」が生まれ、福岡県を代表する秋のブランド果物として高い評価を得ています。

連合福岡推薦の「新井 ふみ子」さんの応援を兼ねて、秋の行楽に「福岡6区」を訪ねてみませんか？（笑）

ヤングカーニバル in 沖縄 2016

「知り」「考え」「心を痛めた」3日間

連合福岡加盟の若年層組合員の平和学習と親睦・交流を目的に「ヤングカーニバル in 沖縄2016」を9月3日～5日で開催しました。この取り組みは、連合福岡青年委員会発足時の1991年から象徴的な取組みとして継続しており、今年も各構成組織の協力のもと106名が参加しました。

平和学習では、ひめゆり平和資料館での講演や、糸数壕、辺野古海岸など7か所を見学し、グループディスカッションを行いました。そのなかで、私たち戦争を経験していない世代が伝えてい



辺野古を視察する参加者



「ひめゆりの塔」で祈りを捧げる

かなければならない平和への思いを共有しました。また、ピースガイドとして参加した連合沖縄青年委員会の皆さんと一緒に戦跡を巡ることで、同じ年代の沖縄の青年層がどのような考えを持っているのかも共有することができました。

親睦・交流では、各班、班長を中心に3日間行動を共にした事で、構成組織の枠を越えた交流を行うことができました。

参加者からは、「今まで知らない沖縄の戦跡を知ることができた。戦争についてこんなに考え、心を痛めたのは初めてだったが、今の自分にできる『知る』ことができてよかった。」「全然知らない人ばかりで不安だったが、班長を中心に盛りあがることで、普段交流出来ない方と多く交流ができて、有意義な研修だった。」などの感想を頂きました。

平和行動 in 根室 2016

早期解決に向け後押し強化

9月10日～11日、連合平和4行動の今年度最後の取り組みとして、「平和行動 in 根室」が北海道根室市で開催され、連合福岡より6名が参加しました。

10日は、北方四島学習会として、映画「ジョバンニの島」の上映や、パネルディスカッション、各種セミナーなどが催され、北方領土についての様々な角度から見識を深めることができました。



連合福岡からの参加者

の歯舞群島のみならず、国後島の羅臼岳まではっきりと見渡せ、北方四島が「近くて遠い島」であることを改めて感じました。

11日は、納沙布岬の望郷の岬公園において「連合平和ノサップ集会」が開催され、約1,200名が参加しました。集会で連合逢見事務局長は「北方領土問題は、本年9月の日口首脳会談により前進し、12月のプーチン大統領の訪日など、解決に向けた兆しが少しずつ見えてくる。連合も民間の立場から、早期解決に向けてその後押しを一層強化していく」と挨拶しました。

当日は晴天にも恵まれ、納沙布岬の集会会場からは、目の前



2016平和ノサップ集会の様子

ワークルールでトラブルの未然防止 直方セミナー開催

連合福岡の非正規労働センター主催の「地域セミナー」を9月25日にイオンモール直方で開催しました。

「労働問題の未然防止」を目的としたこのセミナーは、みんなでクイズをして頭の体操をした後に、市川俊司弁護士の講演で、基本的なワークルールを学ぶ初心者向けの内容です。

組合員にはもちろん、一般の方々へも参加を呼び掛けています。今回は参加者総数66名のうち、9名が連合の組合員以外からの参加でした。また約4割（25名）が女性と、他の地域と比べて多く参加いただきました。

今年度も4回のセミナーを無事に開催でき、合計で315名の皆様に参加いただきました。

次年度以降も「学びやすい」「参加しやすい」「誘いやすい」セミナーを目指して、開催していきます。最寄りの地域での開催の際は、是非ご家族でご参加ください！



市川弁護士からの講演

連合福岡官公部門連絡会学習会



人事院勧告について講演する吉澤事務局長

連合福岡官公部門連絡会は、年2回の学習会を行っています。今回は人事院勧告が出された後の学習会として2016年9月29日（木）に中央公務労協の吉澤事務局長に講演をしていただきました。

今回の人事院勧告の特徴は、産業構造の変化にともなう賃上げ水準の低下について、民間準拠の動揺が大きく影響していることを話されました。デフレ経済の要因に対して何ら対処できて

いない現政権の経済政策の内容を詳細に説明され、「今年度の人事院勧告は、プラスの勧告となったが来年以降は、厳しいものになる」と指摘されました。

また、給与法改正に係る政治的環境のポイントとして、「昨年は、臨時国会を開催せず、給与法の閣議決定等ができなかった。今年も、一部与党議員から昨年同様、今年も給与法に関しては、臨時国会では、審議する必要はないのではという声が聞こえる。予想される退職手当の見直し作業も含め、現政権の公務員政策に対する恣意的な冷遇に警戒する必要がある。」と今後の国会の動向など中央の詳細な内容を聞くことができ有意義な学習会となりました。



熱心に聞きいる参加者

INFORMATION

「OECD 多国籍企業行動指針に関するタワーセミコンダクター社及びタワージャズジャパン株式会社に対する問題提起に関する最終声明」に関する逢見事務局長談話

2016年10月4日

1. 日本のナショナル・コンタクト・ポイント（日本NCP^{*}）は「OECD 多国籍企業行動指針に関するタワーセミコンダクター社およびタワージャズジャパン株式会社に対する問題提起に関する最終声明」を发出した。当該労使による交渉終結前の「最終声明」发出は残念であるが、日本NCPの関与が未払い退職金の支払いなど労使交渉に一定の影響を与えたことは評価できるものと受け止める。
2. 2014年7月31日、イスラエルに本社を置く半導体メーカーの日本法人であるタワージャズジャパン株式会社が西脇工場を突然閉鎖し、解雇問題が発生した。これを受けて連合兵庫・北播地協は地域ユニオン・タワージャズジャパン支部を設立し支援を開始した。同時に、本件がOECD 多国籍企業行動指針に違反することを踏まえ、連合兵庫と連合本部は連携して、2014年8月18日に日本NCPに対して審理要請を行った。以降、イスラエルのナショナル・センター（HISTADRUT）を通じた経営への働きかけや、地方労働委員会の対応支援など、地域協議会、地方連合会、連合本部を挙げて取り組んできた。
3. 日本NCPが会社側に対して「当事者を含む関係者との協議の場を設定する」ことを促したことで、一地域における工場閉鎖の問題を多国籍企業による国際労働問題に発展させ、退職金の支払いや再就職の斡旋など、組合側が求めていた対応を会社から引き出すことにつながった。日本における初の事例として、この経験を今後の労働者保護の取り組みにつなげていく必要がある。
 一方で、同社のCEOが労使交渉に出席したのは1度のみであることや、「平均賃金の三カ月分の退職一時金」の対応などの団体交渉が継続中であることなど、課題が残されている。それにもかかわらず、日本NCPが、一定の期間が経過したことや、「元従業員との協議の場を設けていることを確認した」ことを理由に「一連の対応を終結する」とする最終声明を发出するに至ったことは残念であり、より一層の対応改善を求めていかなければならない。
4. 連合は、引き続き地方組織含め当該労組の取り組みを支援するとともに、国際労働紛争の解決に向けて日本NCPがより一層機能するよう、OECD 多国籍企業行動指針に関する手続きの迅速化・最適化に向けた政府への働きかけを強化していく。

以上

^{*}NCP（ナショナル・コンタクト・ポイント）…「OECD 多国籍企業行動指針」の普及・実施、問題解決の支援のために、各国政府等に置かれている連絡窓口のこと。日本NCPは、外務省、厚生労働省、経済産業省により構成されている。

SCHEDULE これからの主な日程

- 10月13日▶ 第10回連合福岡青年委員会役員・幹事会
- 18日▶ 事務局会議（内局）
- 20日▶ 2016年度政策・制度要求に関する県との意見交換
- 21日▶ 連合福岡第12回政治センター委員会・第12回四役会議
- 21~22日▶ 2016連合中央女性集会
- 24日▶ 2016年度政策・制度要求に関する県との意見交換
第8回連合福岡女性委員会役員・幹事会
- 25日▶ 第13回連合福岡執行委員会
- 27日▶ 第19回連合福岡定期中間大会（終了後；第14回執行委員会）
- 29~30日▶ 第16回連合ユースフォーラム
- 11月9日▶ 労働審判員労使懇談会

連合福岡主催 ほんでも法律相談

※申し込み、問い合わせは、最寄りの地域協議会・労福協に電話で予約して下さい。
10時～17時（土日祝日を除く）

エリア	10月	11月	エリア	10月	11月
福岡	11日(火)	8日(火)	遠賀川	28日(金)	25日(金)
	25日(火)	22日(火)			
筑紫・朝倉	4日(火)	1日(火)	北九州	19日(水)	16日(水)
北筑後	18日(火)	15日(火)	京築・田川	5日(水)	2日(水)
南筑後	12日(水)	9日(水)			

2016年3月28日 午前8時より

ますます便利に ろうきんカードで 使えるATMが 拡大します!

しかもご利用手数料は無料

時間を気にせずATMのご利用が可能!さらにお預入も!さまざまな場所でますます便利に!

ATM運営会社:

LAWSON

ATM運営会社:

FamilyMart

24時間
365日

いつでも
0円

^①くわしくは、九州ろうきん店頭でご確認ください。^②一部の地域においては、コンビニエンスストア内のATMを地方銀行等の金融機関が設置している場合があります。金融機関設置のATMは「MIS」となり、ご利用手数料をキャッシュバック(1回につき108円)をご利用いただけたい口座へ入金いたします。^③システムメンテナンスなどにより、一部ご利用いただけない時間帯があります。また、ATMが発達されていない地域・店舗もございます。^④ご利用時間・お取引内容はキャッシュコーナーによって異なります。©記載内容は2016年2月24日現在の概要です。

ZENROSAI NEWS

火災、自然災害、盗難までワイドな保障

全労済の住まいる共済

^①火災共済・^②自然災害共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

火災はもちろん、台風・地震など自然災害にも備えられる「住まいと家財の保障」。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済福岡県本部
(福岡県労働者共済生活協同組合)

http://www.zenrosai-fukuoka.coop/

保障のことなら

全労済
全労労働者共済生活協同組合
4016B011